

12月1日は「世界エイズデーです

HIV/エイズについて考えてみませんか？

～沖縄県におけるエイズの現状～

沖縄のHIV/エイズの現状、知っていますか？

実は沖縄県は、全国的に見てもHIV感染者やエイズ患者の報告数が多い地域です。

1987年から2025年までに、沖縄県で報告されたHIV感染者とエイズ患者の合計は512件にのぼります。2014年（33件）をピークに減少傾向はあるものの、2025年も11件（HIV感染3件、エイズ患者8件）の報告があり、私たちの身近で感染が広がり続けています。

⚠気をつけてほしい「いきなりエイズ」の現実

検査を受けずに病気が進行し、病院に行ったときにはすでにエイズを発症していたケースを「いきなりエイズ」と呼びます。全国平均では約30％ですが、沖縄県では2025年になんと72.7％と、毎年全国平均を大きく上回っています（過去数年を除き、ずっと高水準です）。

これは、「気づいたときには手遅れになりかけている」人が多く、検査を受けるチャンスを逃してしまっていることを意味します。

また、厚生労働省の調査によると、人口あたりのエイズ患者の報告数は毎年全国の上位にあり、2025年も全国で2番目の高さとなっています。

もし、「HIV陽性」と分かったら……？

「エイズ＝治らない怖い病気」というイメージがあるかもしれませんが、医療は大きく進歩しています。風邪のような初期症状のあと、無症状の時期が続きます

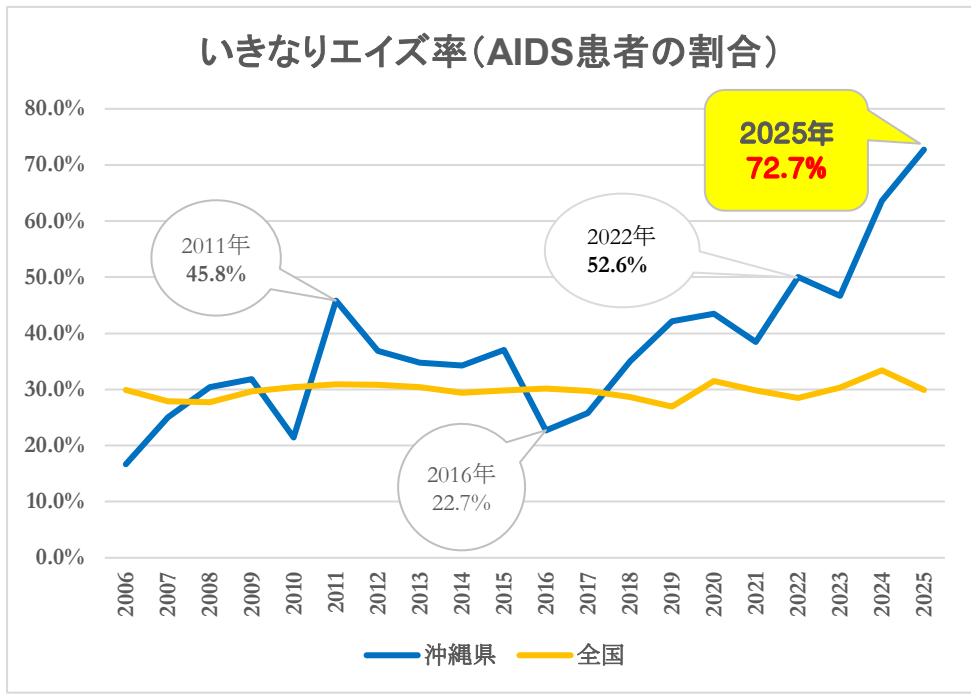
HIV（エイズの原因ウイルス）に感染すると、2～3週間後に風邪のような症状が出たあと、数年から10年ほど症状のない時期が続きます。しかし、その間も体の中でウイルスはひそかに増え続けています。治療をしないままでいると、免疫力が低下し、さまざまな病気を引き起こす「エイズ」を発症してしまいます。

「早期発見・早期治療」で普通の生活ができます

現在もHIVを完全に体から消し去る薬はありません。しかし、早い段階で発見し、薬をきちんと飲み続ければ、エイズの発症を防ぐことができます。

さらに、治療を続けることでウイルスをほぼゼロ（検査で検出できないレベル）に抑え込むことができ、非感染者と変わらない寿命や、これまで通りの日常生活を送ることが可能です。大切なのは、「早く見つけて、早く治療を始めること」。

自分や大切な人を守るために、まずは気軽に検査を受けてみませんか？



令和7（2025）年新規報告数および人口10万対新規報告数の上位自治体

AIDS患者人口10万対		
1位	徳島県	0.58
2位	**沖縄県**	**0.55**
3位	熊本	0.47



参考文献

・厚生労働省エイズ動向委員会「令和7（2025）年エイズ発生動向年報（1月1日～12月31日）」令和7（2025）年エイズ発生動向－分析結果－
https://api-net.jfap.or.jp/status/japan/data/2025/nenpo/bunseki.pdf

未来の自分のために…

HIV検査を受けてみよう！

宮古保健所では無料・即日・匿名でHIV・性感染症検査を受け付けています。

◆場所：宮古保健所１階④検査室（電話：73-5074）　日時：毎週火・木の9:00～11:00、13:30～15:30

◆2026年11月24日（火）～27日（金）は世界エイズデーのイベントとして特例検査のため毎日検査予定です！

◆**予約制**ですので、必ず事前にお問い合わせてください。(※2週間前から予約可能)

◆宮古保健所のHPより検査の仮予約が出来ます！

◆発熱・風邪症状、その他症状ある方は検査をお断りさせていただく場合があります。

宮古保健所健康推進班
TEL:0980-73-5074